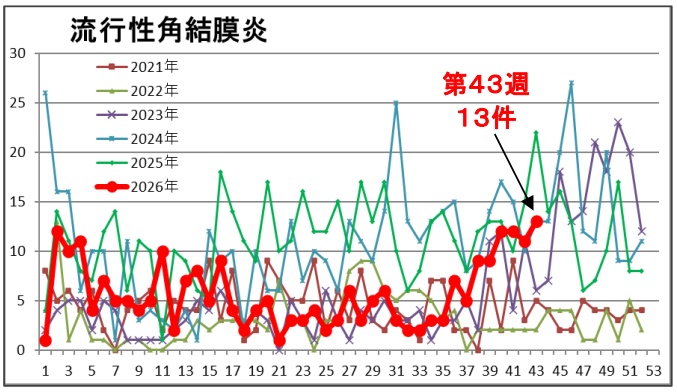
令和8年10月29日

熊本県感染症情報（第43週：10/19～10/25）

流行性角結膜炎（はやり目）に注意しましょう



○今週（第４３週）の流行性角結膜炎の報告数は１３件（一定点当たり１．４４）でした。今年で最も多い報告数となっており、注意が必要です。
○流行性角結膜炎は、アデノウイルスを病原体とする感染症です。ウイルスに汚染した手指やタオルなどに触れることで感染し、結膜の充血、まぶたの腫れ、眼痛などの症状が現れます。
○「こまめな手洗い」「タオルや点眼液など目に触れるものは個人用とし、共用を避ける」等を心がけ、感染を予防しましょう。

結核に気を付けましょう

○今週の報告数は５件、今年累計１２７件となりました。
○結核は、病状が進行すると咳やくしゃみを介して結核菌が空気中に広がり、それを吸い込むことで周囲へ感染します。初期症状は咳、たん、微熱、倦怠感など風邪に似ていますが、特に高齢者の方は呼吸器症状が乏しく、気づかないまま進行することがあります。
○咳やたんが２週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。また年１回は健康診断（胸部エックス線検査）を受けましょう。

１　定点把握対象疾患

※県内141定点医療機関からの報告数　：　10/19～10/25

定点		No.	疾患名	今週	前週
急性呼吸器感染症	71	1	インフルエンザ	618	729
		2	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	↑ 22	14
		3	急性呼吸器感染症(ARI)	↑ 4,547	4,250
小児科	47	4	RSウイルス感染症	↑ 47	40
		5	咽頭結膜熱	4	9
		6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑ 38	30
		7	感染性胃腸炎	↑ 185	152
		8	水痘	↑ 10	8
		9	手足口病	↑ 23	9
		10	伝染性紅斑（リンゴ病）	↑ 1	0
小児科	47	11	突発性発しん	15	21
		12	ヘルパンギーナ	↑ 34	31
		13	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	↑ 2	1
眼科	9	14	急性出血性結膜炎	0	0
		15	流行性角結膜炎（はやり目）	↑ 13	11
基幹	14	16	細菌性髄膜炎	0	0
		17	無菌性髄膜炎	0	1
		18	マイコプラズマ肺炎	1	1
		19	クラミジア肺炎	0	0
		20	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0

※定点の右欄は、定点医療機関数。

【報告数の多い疾患】

※地区別：定点当たりの報告数が多い地域を順に記載

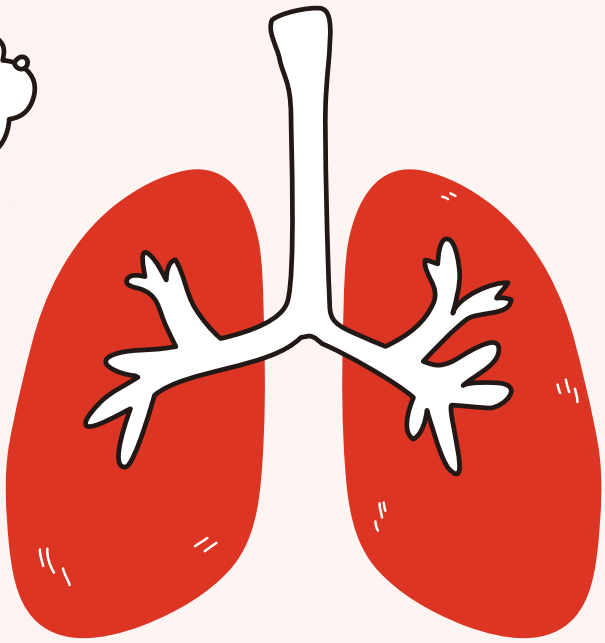
	疾患名	今週	前週	地区別 1	地区別 2	地区別 3	年齢別		
①	インフルエンザ	618件	729件	水俣	宇城	有明	10-14歳	90件	14.6%
②	感染性胃腸炎	↑ 185件	152件	菊池	御船	山鹿	1歳	32件	17.3%
③	RSウイルス感染症	↑ 47件	40件	御船	菊池・有明		1歳	21件	44.7%

警報･注意報レベルの基準値 （国の基準） 20180926 時点

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。 注意報の「-」は対象としないことを意味します。

正しく知ろう 呼吸器感染症のコト



令和の日本にも結核はあります



1年間で
(2025年)
新規登録者数
9,899人
死亡者数(概数)
1,474人

新登録結核患者は高齢者に多く、およそ6割が60歳以上となっています。



早期受診、早期診断
で正しい治療を！

せき・たんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



多種にわたる疾患があり
基本的な感染対策
が有効

呼吸器感染症には、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、細菌性肺炎などがあり、手洗い、換気、咳エチケットなどの基本的な感染対策・予防が有効です。

長引く咳にNTM症という視点を



さまざまな症状がみられる
非結核性抗酸菌症

非結核性抗酸菌症では、長引くせきやたん、発熱、倦怠感、体重減少などのさまざまな症状がみられますが、結核とは異なり、通常は人から人へ感染しません。



住まいの近くの
呼吸器内科を受診

診断や治療に時間がかかることがあるため、症状が続く場合は早めに受診しましょう。

※NTM(nontuberculous mycobacteria):非結核性抗酸菌

主催 ひと、くらし、みらいのために 厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare
後援 内閣感染症危機管理統括庁 文部科学省

厚生労働省　結核　検索
厚生労働省　急性呼吸器感染症　検索
厚生労働省　NTM症　検索

結核　急性呼吸器感染症　NTM症

結核 呼吸器感染症 NTM症 に関するQ&A

結核

Q1 結核はどうやってうつるの？

結核が進行すると、咳やくしゃみなどによって、空気中に結核菌を含んだ飛沫が飛び散るようになります。その結核菌を吸い込むことにより周りの人に感染が拡がります（空気感染）。
結核の症状（咳、たん、微熱、体のだるさなど）には特徴的なものがなく、初期には目立たないことが多いため、特に高齢者では気づかないうちに進行してしまうことがあります。咳やたんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続いたりする場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

Q2 普段から気を付けることは？

定期的に、胸部エックス線検査を含む健康診断を受けることが重要です。結核を発症しても、早期に発見できれば重症化を防げるだけではなく、家族や友人等への感染拡大を防ぐことができます。

Q3 結核は治療すれば治るの？

結核は通常、薬（複数の抗結核薬等）を医師の指示どおりに飲むことで治療できます。標準的な治療期間は6か月～9か月です。治療途中で薬を飲むのをやめてしまったり、指示どおりに薬を飲まなかったりすると、結核菌が薬に対して抵抗力（耐性）を持ってしまい、薬の効かない結核菌（耐性菌）になってしまう可能性があります。医師の指示を守って、定められた期間きちんと薬を飲み続けることが最も重要です。

呼吸器感染症

Q4 呼吸器感染症にはどんなものがあるの？

新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザ、RSウイルス感染症、細菌性肺炎などがあります。呼吸器感染症の多くは、感染した人が咳やくしゃみをすることで飛んだ病原体を含む飛沫を吸い込むことで感染します。

Q5 呼吸器感染症はどうやって予防すればいいの？

呼吸器感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめに手を洗いましょう。また、感染を拡げないために、咳やくしゃみをするときにはマスク、ティッシュ、ハンカチ、袖などで鼻と口を覆いましょう。
また、新型コロナウイルス感染症、季節性インフルエンザ、肺炎球菌感染症のワクチンについては、症状が重くなりやすい高齢の方や一定の基礎疾患（持病）のある方を対象に定期接種を実施しています。定期接種の詳細については、お住まいの市区町村にご確認ください。

NTM症

Q6 NTM 症（非結核性抗酸菌症）はどんな病気なの？

NTM症は土や水、浴室などの環境に自然に存在する菌が肺などの臓器に入り、ゆっくり炎症を起こす病気です。結核とは異なり、一般的には人から人へうつることはありません。咳や痰が長く続く、息苦しさがあるなどの呼吸器症状、微熱や体重減少などの全身症状がみられることがあります。

Q7 NTM症はどうして早期診断が大切なの？

NTM症はゆっくり進行する一方、感染が長期にわたり続いた場合、肺の傷みが進むことがあります。早期に診断できれば、病状を把握し、必要に応じて治療や経過観察を始めることができます。咳・痰が長引く、息苦しさが続くなどの症状がある場合は、早めに呼吸器内科（など）がある医療機関で相談することが重要です。

主催 ひと、くらし、みらいのために 厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare
後援 内閣感染症危機管理統括庁 文部科学省

結核

急性呼吸器感染症

NTM症

令和8年10月29日

【定点把握対象疾患の推移（過去7週）】

報告期間	第36週	第37週	第38週	第39週	第40週	第41週	第42週	第43週	第40週	第41週	第42週
	7週前	6週前	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	全国3週前	全国2週前	全国1週前
	8/31～9/6	9/7～9/13	9/14～9/20	9/21～9/27	9/28～10/4	10/5～10/11	10/12～10/18	10/19～10/25	9/28～10/4	10/5～10/11	10/12～10/18
インフルエンザ	72	152	240	274	724	1,005	729	618	42,320	47,746	33,864
	1.03	2.14	3.38	3.86	10.20	14.15	10.27	8.70	11.35	12.81	9.08
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	30	55	52	45	36	29	14	22	5,635	5,362	3,313
	0.43	0.77	0.73	0.63	0.51	0.41	0.20	0.31	1.51	1.44	0.89
急性呼吸器感染症（ARI）	3,380	3,650	4,103	2,605	4,343	4,879	4,250	4,547	224,516	258,961	210,827
	48.29	51.41	57.79	36.69	61.17	68.72	59.86	64.04	60.34	69.78	56.70
RSウイルス感染症	31	25	51	28	27	33	40	47	2,327	3,192	2,446
	0.67	0.53	1.09	0.60	0.57	0.70	0.85	1.00	1.03	1.42	1.09
咽頭結膜熱	8	20	9	4	5	10	9	4	484	399	400
	0.17	0.43	0.19	0.09	0.11	0.21	0.19	0.09	0.22	0.18	0.18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	60	53	69	41	56	52	30	38	2,907	3,194	2,684
	1.30	1.13	1.47	0.87	1.19	1.11	0.64	0.81	1.29	1.42	1.19
感染性胃腸炎	210	192	202	132	179	215	152	185	7,373	7,254	6,339
	4.57	4.09	4.30	2.81	3.81	4.57	3.23	3.94	3.28	3.22	2.82
水　　痘	9	4	10	2	4	5	8	10	467	350	453
	0.20	0.09	0.21	0.04	0.09	0.11	0.17	0.21	0.21	0.16	0.20
手足口病	10	27	21	8	18	24	9	23	1,834	2,068	1,354
	0.22	0.57	0.45	0.17	0.38	0.51	0.19	0.49	0.81	0.92	0.60
伝染性紅斑	2	0	2	3	1	1	0	1	40	77	45
	0.04	0.00	0.04	0.06	0.02	0.02	0.00	0.02	0.02	0.03	0.02
突発性発しん	37	34	31	21	27	18	21	15	599	597	542
	0.80	0.72	0.66	0.45	0.57	0.38	0.45	0.32	0.27	0.27	0.24
ヘルパンギーナ	27	25	43	11	32	43	31	34	2,465	2,933	1,666
	0.59	0.53	0.91	0.23	0.68	0.91	0.66	0.72	1.10	1.30	0.74
流行性耳下腺炎	3	2	1	1	5	0	1	2	107	85	70
	0.07	0.04	0.02	0.02	0.11	0.00	0.02	0.04	0.05	0.04	0.03
急性出血性結膜炎	3	1	0	0	0	0	0	0	4	5	1
	0.33	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00
流行性角結膜炎	7	5	9	9	12	12	11	13	451	437	359
	0.78	0.56	1.00	1.00	1.33	1.33	1.22	1.44	0.65	0.63	0.52
細菌性髄膜炎	0	1	0	1	0	0	0	0	7	7	3
	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01
無菌性髄膜炎	0	1	1	1	0	3	1	0	25	31	33
	0.00	0.07	0.07	0.07	0.00	0.21	0.07	0.00	0.05	0.06	0.07
マイコプラズマ肺炎	3	0	0	1	1	2	1	1	305	315	295
	0.21	0.00	0.00	0.07	0.07	0.14	0.07	0.07	0.64	0.66	0.61
クラミジア肺炎	0	0	1	0	0	0	0	0	6	4	4
	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	－	3
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	－	0.01

※ 上段：患者数、下段：定点一医療機関当たりの患者報告数
※ 定点一医療機関当たりの患者報告数が全国より2倍以上の場合は着色しています。

【全国より一定点当たり2倍以上(3週連続)多い感染症 】

（※全国の流行状況の情報還元に時間差があるため、全国の情報は1週前までの内容になります。）

・流行性角結膜炎

【大きな流行が発生又は継続しつつある地域（保健所）】

・なし

2 全数把握対象疾患

	疾患名	今週	R8累計
2類感染症	結核	5	127
4類感染症	日本紅斑熱	2	15
	レジオネラ症	2	37
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	3

※当該週以外の週で、報告遅れや取下げがあるため、R8累計報告数は増減します。
報告があった疾患のみ記載しています。

3 病原体検査情報

※県保健環境科学研究所で病原体検査を実施した結果を記載しています。
季節性インフルエンザではどのウイルスタイプが主流かといった傾向を示しています。

〇インフルエンザウイルス検出状況（PCR検査結果） ※2026/27シーズン(R8.9/1～)の累計

	A型			B型
	季節性　H1pdm（AH1pdm09）	H1（ソ連型）	H3（香港型）	
（今シーズン累計）	0件	0件	0件	0件
（昨シーズン累計）	2件	0件	52件	8件

〇呼吸器疾患病原体検出状況 ※第1週(R7.12/29～)からの累計

ライノウイルス	RSウイルス	パラインフルエンザウイルス	ヒトメタニューモウイルス	コロナウイルス	エンテロウイルス
48件 （123件）	9件 （17件）	6件 （46件）	11件 （11件）	30件 （21件）	34件 （91件）
アデノウイルス	その他				
17件 （36件）	21件 （19件）				

（※かっこ内は昨シーズン累計）

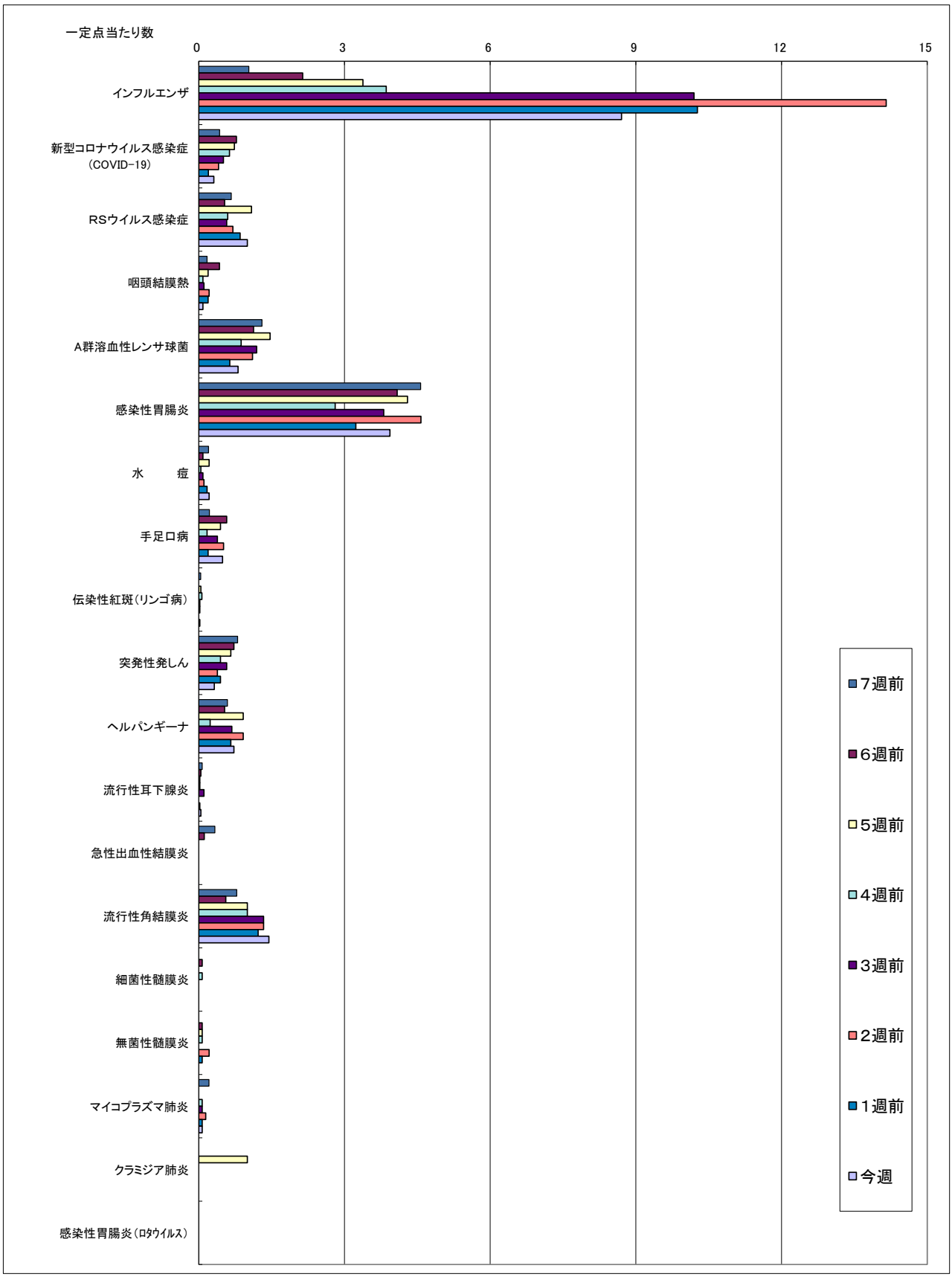
〇感染性胃腸炎病原体検出状況 ※第1週(R7.12/29～)からの累計

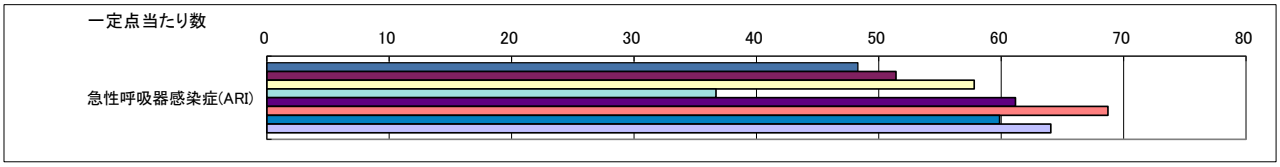
ノロウイルス	サポウイルス	ロタウイルス	アストロウイルス	アデノウイルス	その他
0件 （0件）	2件 （1件）	0件 （0件）	0件 （0件）	0件 （0件）	0件 （0件）

（※かっこ内は昨シーズン累計）

【週報に関するお問い合わせ先】
健康危機管理課　感染症対策班　　直通電話：096－333－2240 （内33154）

一定点当たり週別発生状況の推移





＜令和8年第43週＞

令和8年10月29日

保健所別発生状況 （急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点）

	保健所名	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	急性呼吸器感染症（ARI）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑（リンゴ病）	突発性発しん	ﾍﾙﾊﾟﾝｷﾞｰﾅ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	ﾏｲｺﾌﾟﾗｽﾞﾏ肺炎	ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎	感染性胃腸炎（ﾛﾀｳｲﾙｽ）
1	熊本市保健所	195	2	1,208	11	0	14	34	5	14	1	4	15	1	0	5	0	0	1	0	0
2	山鹿保健所	11	0	22	0	1	3	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	菊池保健所	68	0	1,714	8	0	5	60	3	5	0	3	8	0	0	3	0	0	0	0	0
4	阿蘇保健所	33	2	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	御船保健所	12	5	252	19	3	3	18	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
6	八代保健所	81	0	268	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	水俣保健所	28	2	86	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	人吉保健所	21	7	191	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	有明保健所	88	2	553	8	0	5	26	0	2	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0
10	宇城保健所	69	1	132	1	0	7	15	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
11	天草保健所	12	1	45	0	0	0	3	0	2	0	2	3	0	0	5	0	0	0	0	0
	計	618	22	4,547	47	4	38	185	10	23	1	15	34	2	0	13	0	0	1	0	0

保健所別 一定点当り患者報告数（急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点）

	保健所名	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	急性呼吸器感染症（ARI）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑（リンゴ病）	突発性発しん	ﾍﾙﾊﾟﾝｷﾞｰﾅ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	ﾏｲｺﾌﾟﾗｽﾞﾏ肺炎	ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎	感染性胃腸炎（ﾛﾀｳｲﾙｽ）
1	熊本市保健所	8.48	0.09	52.52	0.79	0.00	1.00	2.43	0.36	1.00	0.07	0.29	1.07	0.07	0.00	1.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00
2	山鹿保健所	5.50	0.00	11.00	0.00	0.50	1.50	5.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	−	−	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	菊池保健所	9.71	0.00	244.86	1.60	0.00	1.00	12.00	0.60	1.00	0.00	0.60	1.60	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4	阿蘇保健所	11.00	0.67	25.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	−	−	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5	御船保健所	2.40	1.00	50.40	6.33	1.00	1.00	6.00	0.33	0.00	0.00	0.67	0.00	0.33	−	−	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6	八代保健所	11.57	0.00	38.29	0.00	0.00	0.25	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	水俣保健所	14.00	1.00	43.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	−	−	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8	人吉保健所	4.20	1.40	38.20	0.00	0.00	0.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	−	−	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9	有明保健所	12.57	0.29	79.00	1.60	0.00	1.00	5.20	0.00	0.40	0.00	0.80	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10	宇城保健所	13.80	0.20	26.40	0.25	0.00	1.75	3.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	−	−	−	−	−	−	−
11	天草保健所	2.40	0.20	9.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.50	0.00	0.50	0.75	0.00	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平均	8.70	0.31	64.04	1.00	0.09	0.81	3.94	0.21	0.49	0.02	0.32	0.72	0.04	0.00	1.44	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00

令和8年10月29日

年齢別発生状況（急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点）

令和8年第43週

急性呼吸器感染症定点 年齢区分	合計	0-5 カ月	6-11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	618	3	10	22	27	24	39	27	40	28	31	26	90	41	23	46	37	37	27	24	16
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	22	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	2	1	0	2	3	3	1	4	3

急性呼吸器感染症定点 年齢区分	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
急性呼吸器感染症（ARI）	4,547	297	1,557	1,047	553	213	109	183	136	123	104	128	97

小児科定点年齢区分	合計	0-5 カ月	6-11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	47	4	5	21	5	6	1	3	1	0	0	0	0	0	1
咽頭結膜熱	4	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
A群溶連菌咽頭炎	38	0	0	0	2	4	5	6	3	7	5	1	5	0	0
感染性胃腸炎	185	5	12	32	22	19	10	21	5	4	3	8	30	4	10
水痘	10	0	2	2	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0
手足口病	23	0	1	18	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	15	0	6	5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	34	0	4	9	9	7	1	2	0	1	0	0	1	0	0
流行性耳下腺炎	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

眼科定点年齢区分	合計	0-5 カ月	6-11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	13	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	2	0	2	3	1	1	0

基幹定点年齢区分	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等について（第43週：10/19～10/25）

令和8年（2026年）10月29日（木）
熊本県　健康危機管理課

1　学級閉鎖について

No	所在地	施設名	措置種別	学年	措置した学級数/学年の総組数	休校	学年閉鎖	学級閉鎖	在籍数	患者数	欠席数	措置の期間			備考
1	御船町	御船高等学校	学級	1	1/6	0	0	1	40	10	9	10月19日	～	10月22日	1-A
2	益城町	益城町立広安西小学校	学級	3	1/4	0	0	1	30	9	9	10月20日	～	10月21日	3-4
3	宇土市	宇土市立宇土東小学校	学年	1	―	0	1	0	38	13	13	10月20日	～	10月21日	
4	熊本市	熊本市立向山小学校	学級	1	1/2	0	0	1	35	12	10	10月20日	～	10月22日	1-1
5	熊本市	熊本市立託麻東小学校	学級	4	1/6	0	0	1	32	16	13	10月20日	～	10月22日	4-4
6	熊本市	熊本市立東野中学校	学級	1	1/5	0	0	1	36	16	16	10月20日	～	10月22日	1-1
7	熊本市	熊本市立東野中学校	学級	2	1/4	0	0	1	42	15	15	10月20日	～	10月22日	2-1
8	熊本市	熊本市立城北小学校	学級	5	1/2	0	0	1	25	12	12	10月20日	～	10月23日	5-2
9	熊本市	熊本市立楠小学校	学級	6	1/2	0	0	1	22	10	7	10月20日	～	10月23日	6-2
10	山鹿市	山鹿市立山鹿小学校	学級	2	1/6	0	0	1	35	13	13	10月21日	～	10月22日	2-3
11	小国町	小国町立小国小学校	学級	3	1/4	0	0	1	22	9	9	10月21日	～	10月23日	3-1
12	熊本市	熊本市立泉ヶ丘小学校	学級	6	1/3	0	0	1	34	11	10	10月22日	～	10月25日	6-1
13	熊本市	熊本市立東町小学校	学級	2	1/3	0	0	1	33	8	7	10月22日	～	10月25日	2-1
14	熊本市	熊本市立麻生田小学校	学級	4	1/2	0	0	1	31	11	8	10月22日	～	10月25日	4-2
15	熊本市	熊本市立帯山小学校	学級	5	1/4	0	0	1	35	6	5	10月22日	～	10月26日	5-3
16	宇土市	宇土市立走潟小学校	学年	6	―	0	1	0	20	6	6	10月23日	～	10月25日	
17	熊本市	熊本市立麻生田小学校	学級	3	1/3	0	0	1	25	5	1	10月23日	～	10月25日	3-3
18	熊本市	熊本市立城北小学校	学級	5	1/2	0	0	1	25	7	7	10月23日	～	10月26日	5-1
19	熊本市	熊本市立東町小学校	学級	2	1/3	0	0	1	33	8	8	10月23日	～	10月26日	2-3
20	熊本市	熊本市立託麻東小学校	学級	3	1/7	0	0	1	33	12	9	10月24日	～	10月25日	3-1
21	熊本市	熊本市立山ノ内小学校	学年	2	―	0	1	0	86	19	8	10月24日	～	10月28日	
			―	―	―	0	3	18	712	228	195				

２ 学校の休業等に係るインフルエンザ様疾患の発生状況 （2026～2027シーズン）

期間		9月 （8/31～10/4）	第41週 （10/5～10/11）	第42週 （10/12～10/18）	第43週 （10/19～10/25）	合計
合計（人数）		279	406	179	228	1,092
保健所別	熊本市	175	236	144	168	723
	有明	14	29	22	0	65
	山鹿	0	0	0	13	13
	菊池	17	57	0	0	74
	御船	20	52	0	19	91
	阿蘇	0	9	0	9	18
	宇城	0	0	0	19	19
	八代	0	11	0	0	11
	水俣	27	12	6	0	45
	人吉	11	0	7	0	18
	天草	15	0	0	0	15
昨年同期		169	36	34	43	282

※学校等からの届出があった日でカウントしています。
県内のインフルエンザの発生状況は、県のホームページに掲載しております（毎週更新）。
本書の情報はあくまで速報値です。

〇インフルエンザの予防方法は
・咳エチケットを守りましょう。
・できる限り人混みを避けましょう。
・こまめに石けんを使用して丁寧に手洗いをしましょう。
・十分な栄養、休養、睡眠を心がけましょう。





〇「せき」や「くしゃみ」で出るしぶきで、ウイルスが広がります。
・「せき」や「くしゃみ」が出るときは、マスクを着用しましょう。
・マスクをしていない場合は、「せき」や「くしゃみ」をする際は、ティッシュなどで口や鼻を押さえ、顔をそむけましょう。
・使用後のティッシュや使い捨てマスクは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。